

2019 年度事業報告書

自 2019年4月 1日

至 2020年3月31日

1 組織活動

(1) 定時社員総会

- ・日 時 2019年6月18日(火) 14:00~17:30
- ・会 場 Hotel & Resorts SAGA-KARATSU (唐津市)
- ・出席数 140人 ※議決権対象213会員中、出席147会員(うち書面74会員)
- ・内 容 「2018年度事業報告」「2019年度事業計画及び収支予算」を報告し、続いて「2018年度決算の承認」、「理事の辞任に伴う後任者の選任」及び「任期満了に伴う監事の選任」をそれぞれ審議可決した。
なお、総会後は講演(株式会社アイスタイル Beauty Tech. jp 編集長 矢野貴久子「コスメティックスの未来予想図~テクノロジーとパーソナライゼーション~」)及びパネルディスカッション、そして会員企業交流プレゼン大会を実施した。

(2) 理事会

理事会設置法人として、次のとおり理事会を開催した。

回	開催日	議 案
1	5月20日(月)	・2019年度事業報告及び決算の承認について ・2019年度定時社員総会の招集の決定について ・株式会社 Karatsu Style 株主総会決議事項の承認
2	9月10日(火)	・就業規則の改正について
3	12月17日(火)	(進捗報告及び協議事項のみ)
4	3月26日(木)	・中期経営計画の策定について ・2020年度事業計画について ・2020年度収支予算について

2 新市場開拓事業

(1) 輸出プロジェクト

JCC 会員の海外参入を促進するため、「台湾」「フランス」をターゲット国とした輸出ルートの構築を図るため、テストマーケティング、展示会出展支援などを行った。

①台湾プロジェクト

地域中小企業向けの輸出支援スキームの構築を図るため、台湾でのテストマーケティングを実施するとともに、レジスト情報の収集、関係先の構築、市場情報収集等を行った。

【主な活動及び成果】

1) 国内化粧品展示会「福岡国際ビューティーショー2019」との連携

- ・台湾テストマーケティング事前セミナーの開催

時期：6月7日 場所：マリンメッセ福岡（福岡市）

- ・九州ビューティーアワード2019の受賞者特典企画

九州発のコスメや美容商品を国内外に発信する、「九州ビューティー」の受賞者に対し、台湾でのテスト販売の参加権を提供。

2) 台湾現地でのテストマーケティングの実施

期間：10月1日～11月30日(2カ月間)

場所：@cosme store 微風信義店(台北)

実演販売イベント実施：10月5日：1社、10月19日：2社

参加企業：5社(計14SKU)

成果：5社14SKUの輸出実績を出し、うち2社は代理店と成約

3) 報告会の実施

株式会社ビジネスガイド社連携九州ビューティー報告&交流会の開催

時期：2020年1月24日 場所：福岡市 参加者：25名

②フランス・プロジェクト

フランス等EUへの輸出ルートを構築することを目的に、提携クラスターと連携した展示会及び商談会等の実施、レジストレーションのテスト、現地国の流通パ

イブの構築を行った。

【主な活動及び成果】

1) フランス国際化粧品展示会「COSMETIC360」への出展支援

時期：10月16日～17日 会場：パリ・ルーブル美術館地下ホール

出展企業：5社

内容：出展会員および来場者商談サポート、国産原料（ゆず）のPR、グローバルコスメティッククラスター（25団体）へ日本代表として参加し、JCC活動PR、今後のインキュベーション事業におけるフランス関係機関との連携調整など

2) 会員企業の経済産業省支援採択事業への支援

経済産業省「ローカルクールジャパン事業」のモデル事業として採択を受けた会員企業のEUプロモーションの実施支援（展示会、現地テストマーケティング、唐津ファムトリップ等）。

本事業には、唐津市及びJCCが連携団体して参画したものの。

3) 輸出スキームの構築

2018年度経済産業省「JAPANブランド育成事業」のEU輸出モデル事業の継続として、唐津産モデル製品のレジストレーション手続をサポートし、1製品の登録を完了。EUレジストに必要なノウハウに関する概要資料を整備。

フランス市場におけるテストマーケティングや代理営業等を行う有望ルートを3ルート構築。

3 産業創出事業

(1) 製品販路支援事業A

会員企業の販売に関してトレードマーケティングとディストリビューションをミックスした視点で、営業企画や販売促進の支援を行った。

【主な活動及び成果】

1) 新規事業及び事業継続のための支援 9社

新規事業、及び化粧品事業拡大のための支援で、化粧品ビジネスの基本、

販促費用の考え方、各流通の販売方法についてレクチャーするとともに、卸や関係事業者とのマッチングを支援した。

2) 個別事業

・エミュー研究会プロジェクト

8月、関連会員企業を中心に、産学連携で「エミュー」の研究と販売方法などを研究する組織が発足。オブザーバーとして、JCCは参画し、エミューオイルの化粧品・医薬品原料化について助言を実施。

3) 相談対応

会員企業の相談に逐次対応した

(主な相談案件のテーマ)

原料調達先、商品販売先、OEM工場、デザインに関する監修、景品法等に対する文言、マーケティングプラン及び販売プランの作り方など

(2) 製品販路支援事業B

地元を核に九州各地の特徴のある化粧品の製造販売を手掛ける企業に対し、JCCの活動内容や支援の可能性を紹介し、賛同者に対し販売活動を支援した。

【主な活動及び成果】

1) 参加企業数 29社 (242アイテム)

2) オフライン施策

・8月下旬より福岡市内商業ビルの店舗内で「九州コスメプロジェクト」スペースを開設し、委託販売実施。推進販売を定期開催。

・スポットとして、百貨店催事参加による商品紹介、販売。

9/25-30 伊勢丹立川店(東京)、10/9-22 博多大丸天神店(福岡県)にて実施。

3) オンライン施策

・9月よりECサイト運営事業者との連携によりEC店舗での販売実施。

九州コスメプロジェクトの名称で地産化粧品専用頁を制作、ブランド紹介。

4) 中東市場輸出施策

4月より中東市場への販売ルートを持つ会社へ商品提案。

1社が基本契約まで締結。

5) PB 企画施策

参加企業の商品企画支援。2社が2020年発売に向けて進行中。

(3) 海外販路開拓事業（唐津市委託）

唐津市からの業務委託により、地域発商品を、成長著しいアジア市場をメインにPR・販売活動を実施した。

【主な活動及び成果】

1) 中国向けバイヤー招聘

中国 EC 有力企業「天猫」を招き、中国市場セミナー及び商品紹介を実施。

- ・ 時期：5月28日～29日（商談会は5/28）
- ・ 会場：唐津市内ホテル ・ 参加企業：24社

2) シンガポール向け事業者招聘

地域の健康食品・加工食品の海外販路の開拓及び輸出の促進を図るためシンガポール事業者向け EC サイトを展開する umamill 株式会社を招き、セミナー及び商談を実施。

- ・ 時期：2020年2月18日 ・ 会場：唐津市内会議室 ・ 参加者：12名

3) マレーシア・テストマーケティング

地域化粧品のマレーシア市場での販路開拓を目指すため、現地事業者と連携し、テストマーケティング（展示・販売）を実施。

- ・ 時期：2020年3月1日～30日 ・ 会場：ISETAN KLCC 店（クアラルンプール）
- ・ 出品企業：6社

(4) 企業誘致及び起業支援事業

国内企業の有力案件の発掘及び国内外の進出企業への支援を図ることにより地域の産業集積を促進した。

【主な活動及び成果】

- ・ 新規の誘致案件の創出（リストアップ、企業訪問）3社
- ・ 企業誘致営業訪問：16社、継続案件のフォロー、現地来訪の対応
- ・ 進出立地成約：1件、起業創業件数：2件

(5) 海外企業誘致事業（唐津市委託）

唐津市からの業務委託により、海外コスメ企業誘致のための調査、プロモーション、企業面談等を実施した。

【主な活動及び成果】

- ・国内外でPR事業（投資セミナー等）実施：7件（うち海外4件）
- ・イタリアにおけるPR・調査実施：10社現地営業
- ・有力案件創出：3件（今後フォロー）

(6) 産学連携

イノベーション創出の機能強化を目的に、支援大学との連携を深化させ、セミナー等を実施することでより広範囲に研究者ネットワークを広げることを目的として事業を行った。また、テーマをもって長期、継続的事業を実施できるように外部資金の獲得を目指した。

【主な活動及び成果】

- 1) 支援大学との連携・研究シーズ情報発信／産学連携の相談対応（随時）
 - ・14支援大学の教員等と意見交換により大学のニーズ、シーズを把握
 - ・共同研究の継続、フォロー（佐賀大学、香川大学、福岡工業大学）
- 2) 産学セミナーの実施（中止） ※計画日：3月6日
 - ・新型コロナウイルス拡大防止対策のため延期→2020年秋以降開催予定
- 3) 外部資金の獲得
 - ・2020年度申請・獲得を目標に情報収集、技術シーズヒアリング等

(7) 人材育成事業

産業人材の輩出機能の強化を目的に、2018年度実施した「コスメビジネススクール構想検討部会」の提案を踏まえ、3タイプの人材を育成するため、各事業を引き続き調査、計画した。

【主な活動及び成果】

- 1) プロトタイプ① 先端技術者プログラム
 - ・支援大学を中心としたコンソーシアムの設置などを検討した。
 - ・中核大学との連携による講座開設に向け調整を進める。

2) プロトタイプ② インキュベーション事業

- ・唐津市委託「インキュベーション」事業として実施。
- ・ローカル・アクセラレーションプログラムを実施（11月～2月）。
計4社参加の内、3社が新規事業等の提案を行った。
- ・業界の新しいキーワードをもとに「Clean&Green Beauty シンポジウム」
時期：2月13日 場所：福岡市 参加者数：41名
大学生など新たな層へJCCの活動、コスメ業界について発信した。

3) プロトタイプ③ 地元専門学校・高校連携プロジェクト

- ・地元高校での課題研究に、フィールドワークやセミナー、イベントなどを支援
- ・2020年度実施に向け体系的なカリキュラムを計画した。

(8) インキュベーション事業（唐津市委託）

JCCが所有する社会関係資本を活かし、市内美容健康関連企業の新規事業の創出、拡大の支援、及び国内外から唐津の地で起業創業する起業家の育成支援の場の整備を目指した。

【主な活動及び成果】（再掲）

- ・唐津市委託「インキュベーション」事業として実施。
- ・ローカル・アクセラレーションプログラムを実施（11月～2月）。
計4社参加の内、3社が新規事業等の提案を行った。
- ・業界の新しいキーワードをもとに「Clean&Green Beauty シンポジウム」
時期：2月13日 場所：福岡市 参加者数：41名
大学生など新たな層へJCCの活動、コスメ業界について発信した。

(9) セミナー及び広報

①セミナー

会員ニーズに沿ったセミナーを、関係団体と連携し開催すると共に、会員間及び会員と地域産業の交流を図った。

【主な活動及び成果】

時期	内容
9月3日	九州コスメセミナー@福岡市 題目：美魔女を生んだ欲望のマーケティング 主催：JCC 参加者：41名
9月20日	佐賀県工業技術センター技術ワークショップ事業@佐賀市 『第2回 化粧品開発支援セミナー』 題目：成功・失敗事例から学ぶ 機能性化粧品原料のR&D 主催：佐賀県工業技術センター／共催：JCC 参加者：50名
11月1日	佐賀県工業技術センター技術ワークショップ事業@佐賀市 『第3回 化粧品開発支援セミナー』 題目：皮膚計測入門 ～美容と健康を正しく測るために～ 主催：佐賀県工業技術センター／共催：JCC 参加者：8名
11月18日	九州コスメ産学連携セミナー@福岡市 題目：機能性化粧品原料の研究開発事例 ほか 主催：九州経済産業局、JCC 参加者：54名
12月13日	Fashion and Beauty Tech Meetup Tokyo vol.3 @東京都 題目：日本のFemtechトレンド ほか 主催：FaB Tokyo（運営協力：㈱アイスタイル）／協賛：JCC
12月18日	九州コスメ中国市場セミナー（第2回）@福岡市 題目：事例から見る中国化粧品輸出成功のポイント ほか 主催：九州経済産業局、JCC 参加者：57名
1月22日	第10回ジャパンメイド・ビューティ研究会@東京都 題目：地域発美容商材のチャンスは何処に ほか 主催：UBM ジャパン株式会社／協賛：JCC 参加者：50名
1月27日	メディア勉強会@唐津市 主催：JCC 参加者：15名

②広報、PR

JCC 活動、会員活動、関係機関情報をタイムリーに発信・PR 及び JCC の紹介ツールの更新を行った。

【主な活動及び成果】

- ・メディア記事掲載 63 件（プレスリリース、メールマガジン除く）
- ・メールマガジンの発行 50 件（配信アドレス数 810 件）
- ・プレスリリースの発出 地元向け 10 回、ネットニュース 4 回

(10) Karatsu Style 活動支援事業

JCC100%出資の子会社であり、地方創生のモデル地域商社である㈱Karatsu Style の各種事業を継続的に支援することにより、コスメティック構想のサプライチェーン機能の強化を図った。

4 地域ブランド事業

(1) 原料開発・供給促進事業

地産素材を活用した原料の開発支援、栽培支援等を通じた産地形成等を展開することにより、地産素材の原料供給を促進した。

【主な活動及び成果】

1) 原料化支援サービス(地産素材の活用及び JCC 会員企業支援)

- ・素材の評価、素材調達調整、原料化企画検討などを実施。
(素材)アスパラガス、海苔、柿、甘夏、ミカン、洋ランなど
- ・化粧品原料化試作：4 件、原料購入先斡旋：2 件

2) JCC 開発室活動

- ・原料供給事業(化粧品原料、化粧品原料中間体製造)

JCC 開発室において、化粧品原料中間体等製造し供給した。

(素材) ホーリーバジル、ミカン、ユズ、レモン、ビワなど

- ・地産素材収集とサンプル製造

38 品目・45 部位、279 試料

- ・関係大学及び佐賀県工業技術センターと連携した機能性評価の実施

2 品目・4 部位、6 試料

3) テスト圃場「TocoWaka」整備

- ・唐津（浜玉町平原）の耕作放棄地活用し、ハーブ等試験栽培。
- ・会員 3 社が指定農園として連携中。

(2) 地域コア原料開発・産地化促進事業（唐津市委託）

唐津市からの業務委託により、地産素材を使用した競争力のある原料の開発、素材栽培の拡大による産地化を図った。漁業衰退の背景もあり、コスメによる第一次産業の活性化を目指し、団体設立を行い、島住民とともに、特色ある原材料の栽培、また安定供給を目指した。

【主な活動及び成果】

- ・島内外で開催したイベントにおいて唐津産ツバキの PR を実施：3 回
- ・唐津産ツバキを原料として使用した商品開発・販売：9 社
- ・植樹、整地活動を行い、ツバキへの関心を高め、オイル収穫量 1t 達成
- ・モデル地域の高島では、生産体制を整える仕組みづくりを実施
耕作放棄地の開拓、生産組合の発足、農法指導
- ・特色ある原材料の発掘・提案
(素材) キヌア、和蜜、ホーリーバジル、ボタンボウフウ、ローゼルなど
- ・島産素材商品開発：12 ブランド、26SKU
- ・中国 KOL ファムトリップ実施 @唐津（9 月） 会員のプロモーションを支援

(3) 地域ビジネス創出体制の整備及び「Hana Marche」等コンテンツ発信

JCC の取組や価値観、会員企業等の情報発信・PR を促進するとともに、「コスメのまち」のブランドを形成し、ヒト・モノ・カネ・コトを引き込む事業に取り組んだ。

【主な活動及び成果】

時期	内容
5 月 5 日	【主催事業】 Hana Marche 2019@唐津市

	<p>美と健康をテーマに、生産者、製造者、生活者の交流イベント。化粧品、食品等の展示販売、トークショー、体験ワークショップなどを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブース出店：44社 ・協賛：12社 ・参加人数：1,430名
5月10日	<p>書籍「社会派化粧品」全国発売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出版社：キラジェンヌ ・制作協力：JCC ・地方の自然素材を使った17のコスメ・ブランドを人と地域の取材を通して紹介。
5月15日 ～17日	<p>第9回化粧品産業技術展@パシフィコ横浜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催：日本化粧品原料協会連合会 ・JCCとしてブース出展し、地産素材のPRを実施。 ・3日間のブース来訪者：約600名
6月1日 ～2日	<p>唐津マルシェ@イオン唐津</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元催事に参画 ・展示販売17出店中、JCC関連企業：9社
6月6日 ～8日	<p>福岡国際ビューティーショー@福岡市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催：ビジネスマガジン社 ・出店：九州ビューティーエリア出店数26社 うちJCC会員企業：2社 ※トークショーで、JCC（2社）発表 ※「九州ビューティーアワード」企画支援
8月7日 ～13日	<p>博多阪急イベント@福岡市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・催事販売イベント ・主催：博多阪急 ・出店：13社、うちJCC関連企業：4社 ※トークイベントで、JCC（3社）発表
10月26日	<p>Sagan beauty weekend 2019@唐津市</p>

～27日	<ul style="list-style-type: none"> ・主催：佐賀県／共催：JCC ・場所：唐津地区（高島、波戸岬キャンプ場、FACTO、他） ・内容：キノア植栽、朝ヨガ、化粧水づくり体験、等 ・参加者：女性21名（ゲスト2名を含む）
11月11日 ～3月29日	<p>【主催事業】</p> <p>ショーケース事業「JCC Pop Up Gallery」@唐津市</p> <p>地産素材使用商品の展示販売、JCCの活動紹介、九州コスメプロジェクト商品展示販売などのため期間限定店を開設。</p> <p>地産素材使用商品の出品：15社、50アイテム</p>
2月7日	<p>Sagan beauty weekend 2019@佐賀市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催：佐賀県／共催：JCC ・内容：パーソナルカラー診断、肌測定などの体験ブース、 ステージトーク、美と健康に関する商品の販売 ・来場者：257名

(4) 玄海プロジェクト

コスメティック構想における地域における産地化の促進を図るため、玄海町薬用植物栽培研究所を中心とした、特色ある原材料の栽培、また安定供給のための団体設立に取り組んだ。町内外において薬草事業のPRを実施し、風土醸成、可能性の提示を実施。関係人口を増やし、生産者や町民に興味を持ってもらった結果、薬草事業従事者が新規従事者2名増となった。また安定供給に向けた団体の設立を生産者、行政、薬草園等と協議、2020年度設立を目標とし、認識の共有化まで行うことができた。

【主な活動及び成果】

- ・町内外イベントにおける薬草事業のPR：6回
- ・新規就業者数2名増
- ・各種関係機関との団体設立に向けた話合・懇談会等
- ・特色ある原材料の発掘・提案（アモジ、淡雪、薬草等未利用部分等）

5 専門人材配置事業

(1) 専門人材配置

当会活動を効果的・効率的に進めるため、専門人材を配置して業務を遂行した。

【専門人材体制：2020年3月末時点】

13名（うち、自治体出向者2名、市委託事業による採用者：4名）

・事務局長：1名

・チーフコーディネーター：3名

（製品販路担当1名、原料開発担当1名、産学連携担当1名）

・コーディネーター等：8名

（国際3名、製販1名、産学1名、原料1名、地域2名）

・コスメ原料開発室オペレーター：1名

6 会員の状況

(1) 2019年3月31日時点

正会員 195名

支援会員 27名

計 222名

(2) 2020年3月31日時点

正会員 175名（継続163名、新規入会12名）

支援会員 26名（継続26名）

計 201名（継続189名、新規入会12名）